

熊本大学病院消化器内科を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の間い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名（研究番号）：

「C型肝炎ウイルス検査陽性者に対する受診勧奨を目的とした病病（病診）連携システム構築及びその効果についての観察研究」（No. 2179）

当院の研究責任者（所属）：

田中基彦（消化器内科）

他の研究機関および各施設の研究責任者：

関連病院）

国立病院機構熊本医療センター 杉和洋

くまもと森都総合病院 肝臓・消化器内科部長 宮瀬志保
熊本赤十字病院 消化器内科 北田英貴
済生会熊本病院 消化器内科部長 今村治男
熊本地域医療センター 消化器内科部長 田村文雄
西日本病院 消化器内科部長 住江修治
天草地域医療センター 消化器内科部長 坂井良成
上天草市立上天草総合病院 内科部長 溝部孝則
天草セントラル病院 永濱裕康
あしはら医院 院長 葦原浩
熊本労災病院 第二消化器内科部長 瀬戸山博子
熊本総合病院 消化器内科 吉松眞一
済生会みすみ病院 消化器内科部長 藤本貴久 肝臓外来 川崎剛
国保水俣市立総合医療センター 消化器センター長 成田礼
公立玉名中央病院 消化器内科部長 福林光太郎
山鹿市民医療センター 消化器内科長 千代永卓
新生翠病院 院長 鴻江勇和
阿蘇医療センター 消化器内科 檜原哲史
寺崎内科・胃腸科クリニック 院長 寺崎久泰
熊本セントラル病院 副院長 宮島一郎
阿蘇立野病院 院長 上村晋一

協力病院)

術前検査を日常臨床で行う非肝臓専門病院(眼科、整形外科など内科以外の診療

科を主に標榜する病院を想定している)

本研究の目的：

C型肝炎ウイルスの持続感染者は、感染機会が明確ではないことや自覚症状がな

いため、適切な時期に治療を受ける機会がなく、本人が気づかぬうちに肝硬変や肝がんへ移行する機会が多いことが問題となっています。

また様々な医療機関で処置や手術に際して感染予防目的での C 型肝炎ウイルス検査が行われますが、肝疾患の診療を専門としない医療機関では、その検査結果が仮に陽性であっても患者様へ十分な情報を提供し、専門医療機関の受診を勧奨することは難しい状況です。

そこで、非肝疾患専門医療機関と肝疾患専門医療機関である熊本県肝疾患診療連携拠点病院(熊大病院)ならびにその関連施設とが協力して病病(病診)連携システムを構築し、C 型肝炎ウイルス検査陽性の患者様が速やかに肝疾患専門医療機関に紹介され、的確な診断の元に最新の治療をうけることができる体制を確立します。このような連携システムが確立すると、肝硬変への進展や肝発がんの抑制につながることを期待されます。

調査データ該当期間:

2019 年 5 月から 2020 年 3 月まで

研究の方法 (使用する試料等) :

肝疾患の治療を専門としない医療機関において診断された C 型肝炎ウイルス検査陽性の患者様に関して、受診率(専門医療機関を受診する人の割合)や受療率(治療を受ける人の割合)を向上させる連携システムを構築し、その有効性を検討します。この連携システムが構築されると、ご紹介を受けた患者様は熊大病院や関連施設を初めて受診する日に、血液検査、腹部エコー検査などを受けることが可能になり、その結果をもとに的確な診断を受け、必要に応じて最適な治療をうけることが可能になります。システムの有効性の評価にあたっては、患者様の年齢や性別、血液検査や画像検査の結果、治療成績、治療後の経過といった個人情報を使用させていただきます。またアンケート調査へのご協力もお願いしております。

試料/情報の他の研究機関への提供 :

なし

個人情報の取り扱い：

利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

本研究の資金源（利益相反）：

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません

お問い合わせ先

平日 8:30～17:00
熊本大学病院内科外来 電話・ファックス:096-373-5540

平日の上記以外の時間帯および土日祝日、年末年始の外来休診日
熊本大学病院消化器内科病棟(東病棟 3 階)
電話・ファックス:096-373-7407

担当者:川崎剛、瀬戸山博子